

漢字 | 解答と声かけ

目標：学習した漢字を読み、文の中で使う。山・川・林・雨・木・人を学校で学習した後の復習に使います。学習前の字は外してください。

1 読む：山＝やま、川＝かわ、林＝はやし

意味の分かる言葉として読めるかを見ます。音読みを答えた場合も誤りと決めず、「山にのぼる」などの短い文で訓読みを確かめます。

声かけ：山で迷う：「山にのぼる、の山だよ。どんな場所かな？」

声かけ：川で迷う：「水が流れている場所を思い浮かべてみよう。」

声かけ：林で迷う：「木に似た形が、いくつ見えるかな？ この字の言葉を思い出せる？」

2 書く：あめ＝雨、き＝木、ひと＝人

つまずきは、字を思い出せない場合と、形を整えにくい場合に分けて見ます。見本を見て書き直しても構いません。字形や筆順は学校で使う教科書の手本で確認します。

声かけ：雨：「空から何が降っている文かな？ 教科書の『雨』を探してみよう。」

声かけ：木：「林の中にも、似た形があるね。どの部分かな？」

声かけ：人：「人の字を、指で大きく書いてから、マスに書いてみよう。」

3 使う：自分の文を作る

例：「山に のぼる。」「川で あそぶ。」「木が そだつ。」「雨が ふる。」選んだ漢字を意味に合う文で使えていれば、例と違って構いません。

つまずき：字は書けても、何を書くか決まらない。

声かけ：「どこで見た？ そのとき何をした？ まず話してから書いてみよう。」

親子で話してみる：「今日、道や看板で見付けた漢字はあった？」

